

市長就任3年目までの公約への取組

もっと1 子育て教育のまちに

	取組方針	これまでやってきたこと	今後やりたいこと
○学校トイレ整備の改善	学校環境の改善と子どもの保健対策を図るため、小中学校のトイレの洋式化を進める。	・洋式化が進んでいなかった池の上小学校、桜台小学校、七次台中学校、桜台中学校校舎の全面洋式化が終了し、市内すべての小中学校校舎のトイレが洋式化	・七次台小学校体育館の改修工事を令和4年度に行い、すべての小中学校体育館のトイレを洋式化する。 ・柔剣道場等施設を順次洋式化
○学童保育と放課後子ども教室の充実と再編	次代を担う人材の健全育成に向けて、子どもが放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動が行うことができるよう、総合的な放課後対策を進める。	・全小学校で学童保育を展開 ・令和4年1月から、新たに池の上小学校で放課後子ども教室が開始し、市内3カ所で放課後子ども教室を展開	・放課後子ども教室の実施箇所の増加 ・放課後子ども教室と学童保育の連携
○ICTを活用した教育環境の充実	教育レベルの向上を図るため、ICTを活用した教育環境の充実を進める。	・児童生徒1人1台にタブレット端末を配布 ・校内における高速通信ネットワークを整備 ・オンライン授業を開始	・タブレット活用の職員研修や効果的な授業展開についての情報発信

もっと2 元気で健康なまちに

	取組方針	これまでやってきたこと	今後やりたいこと
○ライフステージに応じた健康づくりの推進	市民だれもが元気に活躍し、安心して暮らすことができるよう、家庭・学校・職場・地域において、子どもから高齢者までそれぞれが年齢に応じた健康づくりに取り組むことを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防を目的とする梨トレ体操や楽トレ体操、子ども向けの梨トレ体操第2など年代に合わせた体操の普及啓発 ・全中学校区での総合型地域スポーツクラブの活動を支援 ・新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響かつ健康状態の悪化や運動機会の減少、心身の不調に対応するため、フレイル予防の取組を実施 ・第3次しるい健康プランを策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民だれもが健康づくりを自分事として実践できるよう、運動の動機付けや習慣化を支援
○介護予防事業で健康寿命の延伸	市民がいくつになっても健康で自立した生活を送ることができるよう、高齢者の介護予防活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防を行う自主グループの立ち上げや継続を支援 ・高齢者自身がボランティア活動を行い、自身の介護予防と地域の見守りの両立の推進 	
○高齢者就労の拡充と居場所づくり	人生100年時代を見据え、高齢者の生きがいづくりと労働力の確保の観点から、高齢者の就労や社会参加などを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就労やボランティアのマッチングイベントを開催 ・研修などを通じたサロン活動の活性化を支援 ・コロナ禍での住民主体の通いの場の活動再開に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就労や地域活動への参加を促進 ・サロンなどの居場所の活性化を支援
○生活者の視点に立った安心して暮らせる環境づくりの推進	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、地域において市民や事業者が主体となったサービスを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民主体の買物などの軽度生活援助活動をモデル的に実施 ・白井市助け合い活動補助制度創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等との話し合いによる新たな生活支援サービスの創出を支援 ・住民主体の助け合い活動の活性化を支援

もっと3 安全・安心なまちに

	取組方針	これまでやってきたこと	今後やりたいこと
○災害に備え、自助・共助・公助の連携強化	いつ起こるか分からない災害に備えて、災害による被害全体を軽減するため、減災対策の充実に向けて、自助・共助・公助の連携を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の設立など地域防災力の向上を支援 ・機能別消防団の導入による消防団の体制強化 ・災害時に自ら避難することが困難な人の避難支援するプランを策定 ・災害に対する予防、応急対策、復旧対策を定める地域防災計画を改訂 ・災害リスクに基づいて減災に向けた取組を定める国土強靱化地域計画を策定 ・最新の防災ハザードマップ(地震・洪水・風水害)の作成と全戸配布 ・内水氾濫に対するハザードマップを作成、全戸配付 ・大規模災害に備えた避難所運営マニュアルの策定、自治会等に配布 ・消防団員の処遇改善及び消防団車両更新整備方針を策定し計画的に更新整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域への防災アドバイザーの派遣など、更なる地域防災力の向上を支援 ・地域防災計画と国土強靱化地域計画に基づく災害対策を推進 ・防災行政無線の更新による災害時の情報伝達手段の強化 ・市民との協働による避難所開設・運営訓練を通じた共助の充実、強化
○防災や防犯などの地域課題に取り組むため、まちづくり協議会の設立の促進	地域の課題やその解決方法を協議し、実践するまちづくり協議会の設立を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から取り組んでいた2つのモデル小学校区(白井第三小学校区、大山口小学校区)及び白井第二小学校区で、令和3年度にまちづくり協議会が設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル小学校区での取組を他の小学校区に横展開し、すべての小学校区にまちづくり協議会を設立
○コミュニティ活動を活性化し、地域コミュニティの再生	高齢化が進む中で、地域のつながりやコミュニティの再生を図るため、それぞれの地域特性を活かして、地域住民の積極的な地域活動を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や自治連合会小学校区支部の活動を支援 ・公益活動を行う市民団体を支援 ・講座を通じた市民・市民団体・行政をコーディネートする人材の育成 ・市民協働ファシリテーターの市主催ワークショップ等での登用 ・Zoomなど新しい生活様式にも対応したコミュニケーションツールの活用支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるコミュニティ意識の醸成 ・コーディネート人材の活躍の場づくり

もっと4 みどり豊かで快適なまちに

	取組方針	これまでやってきたこと	今後やりたいこと
○消費・生産の地域循環を促進し、白井の農業・商業を守るための事業展開	産業の活性化に向けて、基幹産業である農業を積極的に支援し、生産と消費の経済循環を生み出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「歌舞伎座」をはじめ、都内でのPR機会を拡充 ・しろいの梨のWEBサイトの構築、直売所マップの作成などPR手法を充実 ・地場産農産物の移動販売など、販売の場の拡充による市内消費を拡大 ・新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響を受けている市内中小事業者等や農業者を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアターゲットを絞った産直PRなど認知度向上の取組を深化 ・インターネット販売など販売形態の多様化を促進 ・広域的な販売の場を充実 ・農業の担い手の育成 ・駅周辺のにぎわいの創出による市内の消費の推進
○豊かな自然や緑を守り、次世代に残すための事業拡充	豊かな自然を市民とともに守り、育み、次世代に残すための取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との協働による環境学習を推進 ・神々廻市民の森での市民団体との協働による環境保全活動を展開 ・市内中学校で脱炭素ワークショップを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体と協働してみどりを育む活動の充実 ・カーボンニュートラルへの取組の推進
○北総線運賃対策をはじめ、循環バス・民間バス・タクシーなど交通ネットワークの利便性の向上	北総線運賃対策を進めるとともに、鉄道・バス・タクシーという公共交通機関の役割分担のもと公共交通ネットワークの利便性の向上を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・北総線運賃値下げに向けた要望や沿線の活性化 ・R3年度から新たなルート、ダイヤでの循環バスの運行を開始、合わせて愛称をコミュニティバス「ナッシー号」に ・新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響を受けている公共交通事業者を支援し安定的な運行及び日常生活の移動手段を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線活性化や、さらなる北総線運賃値下げに向けた沿線市との連携強化 ・駅周辺地域活性化 ・公共交通機関の役割分担をもとに、運行ルートや受益者負担の見直しなどを総合的に検討
○各地域を結ぶ生活道路の整備とともに、工業団地へのアクセス道路の整備促進	地域幹線道路や生活道路、工業団地アクセス道路の計画的な整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の新設、歩道整備や生活道路の拡幅等を推進 ・工業団地アクセス道路の整備を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路のネットワーク化を推進 ・工業団地アクセス道路の整備完了 ・構想道路(仮)木・十余一線の整備に着手

もっと5 健全な行財政運営なまちに

	取組方針	これまでやってきたこと	今後やりたいこと
○市役所の仕事を見える化して、事業の見直し改善を行い、行政のスリム化	市民等と市の情報共有を進めるとともに、事業の見直しや統廃合、民間委託や協働の推進、効率的で機動的な行政組織の構築など行政のスリム化を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供戦略に関する計画を策定 ・事務事業評価等を通じた事業の抜本の見直しを推進 ・多様化する行政課題等に柔軟・的確に対応できる組織体制に見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供戦略に関する計画に基づく情報共有(情報の受発信) ・事務事業評価等を通じた事業の抜本の見直しを推進 ・将来を見据えた行政組織のスリム化 ・部局横断的な連携を促進
○働き方改革と意識改革を進め、生産性の向上と意欲と質の向上	業務の効率化等により生産性を向上させるとともに、計画的に人材を育成して職員一人ひとりがその能力や意欲を最大限発揮できる環境を整えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「白井市職員のあるべき姿」を策定 ・人材育成基本方針を見直し ・適材適所の人事配置を推進 ・ノー残業デーの実施 ・勤務管理システムの導入など働き方の見える化を推進 ・コロナ禍の働き方として時差出勤や分散勤務、テレワークを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成基本方針に基づき計画的な職員育成を推進 ・職員の現場主義の徹底 ・職員が地域活動に参加しやすい仕組みづくり ・ワークライフバランスの推進 ・デジタル化の推進
○市民参加により次世代を見据えた公共施設等の最適な配置	公共施設等のあり方について、市民との合意形成を図りながら、個別施設の長寿命化や有効活用、統廃合を計画的に進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の最適配置等を検討するための方針を策定 ・地区ごとに公共施設に対する市民ニーズを把握 ・市民ニーズを踏まえた公共施設の個別施設計画を策定 ・文化センターの今後のあり方検討委員会を立ち上げ、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に公共施設の長寿命化を推進